

第2章 ハード構成と動作環境

1. ハード構成

CD-ROMとパソコンを用いたマルチメディア型システム。

2. 使用形態

スタンドアロン型CAI。

3. 動作環境

(1) パーソナルコンピュータ本体

Microsoft Windows95が動作可能なパーソナルコンピュータ。

(2) CPU

80486SX以上のCPUを搭載。

(3) 基本ソフトウェア

Microsoft Windows95（日本語版が動作する環境）

(4) メモリー

16MB以上（24MB以上のものが望ましい）。

(5) ディスプレイ

パーソナルコンピュータに接続可能で、Microsoft Windows95に対応したもの。解像度は1024×768以上

(6) 日本語入力システム

Microsoft Windows95に対応した日本語入力システム（ATOK MS-IME等）。

(7) サウンド機能

再生機能。

(8) キーボード

JIS標準配列準拠。

(9) マウス

Microsoft Windows95に対応したもの。

(10) ハードディスク

ハードディスク：30MB以上空き容量。

(11) CD-ROM

倍速以上

(12) ヘッドホン

室内の空調など外部環境ノイズに影響されることなく、小さい音量でも明瞭にパソコンからの説明を聴くことができるもの。

(13) フロッピーディスク

フォーマット済みフロッピーディスク、学習者1人に1枚。

※CAI学習における学習者登録用として使用します。

4. 動作環境条件決定上の留意事項

上記3. 動作環境の条件は施設におけるパソコンの形式や年式及びOSの使用状況、機種の変更時期などにも配慮しました。しかし、パソコンに搭載しているCPUの性能により、学習者に対するパソコンの反応速度が左右されることから。学習時間や学習意欲などにも影響が及ぶことも考えられます。したがって学習者が複数の場合は、同一性能の機種を使用することをお勧めします。